

戦 評 用 紙

平成24年度関東高等学校女子バスケットボール大会

第66回関東高等学校バスケットボール選手権大会

平成24年5月19日

コート第F3試合

対 戦	所沢北高校	11 - 6	和光国際高校
		15 - 13	
	59	14 - 19	51
		19 - 13	

第1P、両チームともにハーフコートマンツーマンでスタート。関東大会出場をかけた一戦ということで、お互いに硬さのある立ち上がりとなった。口火を切ったのは所沢北#9のドライブシュート。和光国際も#5から#9の合わせを2本成功させるが、11対6とロースコアで終了。

第2P、所沢北は#6の3Pとドライブ、#9のインサイドで得点、一方、和光国際は#9のインサイドが粘りを見せるが、高さでリバウンドを上回る所沢北がやや有利に試合を進める。所沢北は25対15と一時は10点リードするも、和光国際も#4が踏ん張り26対19で前半を折り返す。

第3P、和光国際は#4のリバウンドを皮切りに、#5のシュート、#8のポストプレーで30対27と3点差まで詰め寄る。約4分間ノーゴールの所沢北はタイムアウト後、#6の1対1が機能し始め、その後は一進一退となり、40対38と所沢北が2点リードで最終ピリオドへ。

第4P、和光国際は開始直後、#11の速攻で同点、#4のドライブで逆転に成功。たまたらず所沢北はタイムアウト。所沢北も#5、#7のインサイドが息の合ったプレーで45対44と再度逆転する。ここで所沢北はゾーンプレスから3-2ゾーンで勝負に出ると、オフェンスでも流れを引き寄せ、#6の3Pとドライブ、#7のインサイド、#9の3Pで57対47と一気に10点のリードを奪う。和光国際も最後まで健闘したが、59対51で所沢北が競り勝ち、関東大会出場を決めた。

(記録者：川越南高校 大宮 史子)